

「アフリカにおける日本とEBRDのパートナーシップ」イベント・署名式について

1. 日時：2025年8月21日（木）18時30分～
2. 場所：パシフィコ横浜 展示ホールD S-06
3. 概要：加藤財務大臣・EBRDルノーバツソ総裁からの冒頭挨拶後、日本・EBRD協力基金（JECF）内に設置するアフリカ特別枠に係る協力覚書に、加藤大臣とルノーバツソ総裁が署名。

1. 概要・目的

- 欧州復興開発銀行（EBRD）は、2023年、サブサハラ・アフリカ6カ国（ベナン、コートジボワール、ナイジェリア等）への業務範囲拡大のためのEBRD設立協定改正を採択（2025年7月発効）。
- TICAD 9 の機会に、財務省と欧州復興開発銀行（EBRD）がアフリカへの支援のために協力するメッセージを発信するため、両者の共催により「アフリカにおける日本とEBRDのパートナーシップ」イベントを開催。

2. アフリカ特別枠の発表

- 同イベントでは日本・EBRD協力基金（Japan-EBRD Cooperation Fund）の中にアフリカ特別枠を創設し、再生可能エネルギーの促進、中小企業能力強化、持続的な食料システムの構築といった分野で主に技術協力を通じて民間セクターの活動を支援することを発表予定。併せて、アフリカ諸国への支援における財務省・EBRD間の合意文書として、「協力覚書（MOC）」の署名式を実施。
- その後、ハルマガートEBRDサブサハラ・アフリカ担当総局長によるプレゼン後、質疑を実施。